

1年学年だより

和歌山県立星林高等学校 1号
2019年4月9日発行

①時刻を守る

星林高校では、8時33分の予鈴までに校門（裏門や通用門は8時30分までに）を通過しないと遅刻になります。慣れない通学路、最初は時間に余裕を持って登校しよう。もし、遅刻しそうな場合は、家を出る前に学校へ連絡を入れるようにしてください。また、本格的な授業が始まるまでにはアセンブリーやガイダンスがあります。校内の移動も時間に余裕を持って行動しよう。



②挨拶&身だしなみ

本校を訪問した人が「星林高校の生徒は誰もが挨拶をしてくれる。すごいね!」とよく言われます。まずは、「おはよう・こんにちは・さようなら」と元気に挨拶をしよう。そして、挨拶されたら必ず挨拶を返そう。それから、清潔感のある身だしなみ、服装を心がけよう。

③「SEIRIN 手帳」で自己管理

星林高校では、独自の手帳を使っています。朝のSHRではこの手帳を使い、提出物の期限や宿題、小テストやクラブの予定、定期考査の成績などを書き込み、自己管理ができる人間を目指します。毎週末には「1週間の振り返り」もします。常にメモをとる習慣をつけてください。

④家庭学習の習慣を!

高校の授業は、中学時代とは違って大変内容が多く、しかも難しくなります。うかうかしていると、授業について行けなくなってしまいます。そうならないためには、家庭での学習、つまり予習や復習がとても重要になってきます。クラブ活動と両立しながら、自分なりの学習リズムをしっかりと確立しよう。



⑤大人になろう!

みなさんの中に“子ども扱い”されて喜ぶ人はいますか? おそらく、そんなことをすると腹を立てる人がほとんどだと思います。つまり、誰もが“大人として扱われたい”と思っているのではないのでしょうか。そこでみなさんに提案します。是非、“大人”になってください。ただし、みなさんの身分はまだ高校生で未成年のため、社会的には完全な大人にはなれません。ここでいう大人とは、“精神的な面”、“行動する面”での大人という意味です。

たとえば、「約束やルールを守る」、「知識や常識を身につける」、「弱者を助ける」、「間違えた時にはきちんと謝る」など、当たり前のことを当たり前にできる人、それが大人だと思います。でも、これが実は大変難しいことなのです。そして、その発言や行動には、自ずと責任が伴うことも忘れてはなりません。

これからはそういう意味で、みなさんと“大人として接して行きたい”、そう思っています。みなさんの発言や行動、みなさんの成長する姿を楽しみにしています。



◇ 入学おめでとう。ようこそ星林高校へ。待望の高校生活がいよいよ始まります!

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。そして星林高校へようこそ。期待と不安を胸に、待ちに待った高校生活がいよいよスタートしましたね。今日は記念すべき1日目です。初めて会うクラスメイトや先生、



勝手がわからない校舎や高校生活…。特に入学してしばらくは意識していなくても、緊張でとても疲れる日が続くはず。また、高校では新しい自分を見つける機会でもあります。何事にも積極的にチャレンジして行きましょう。ただし、頑張る気持ちは大切ですが、一気に“アクセル全開”にする必要はありません。様々なことに少しずつ慣れていってください。

さあ、新しい自分探しと、みなさんにとって充実した高校生活になることを期待しています。

◇ 学年団の紹介

正副担任をはじめ、1年学年団を紹介します。

★は学年主任、☆は学年副主任です。

組	正担任	副担任
A	金澤 一代 (数学)	原田 海希 (社会)
B	角谷 芳史 (体育)	秋月 妙香 (国語)
C	栗山 真治 (数学)	武蔵 茉菜佳 (理科)
D	嶋本 真奈美 (英語)	中澤 亨 (体育)
E	歳行 江里佳 (英語)	松本 雅至 (芸術) ★
F	新井 大貴 (理科)	木村 真美 (国語) ☆
G	山田 操 (理科)	栗栖 佐和 (英語)
学年付	山本 浩二 (国語)、名倉 行子 (養護) 石井 聖香 (司書)	

◇ 学年主任より

この1学年の主任となりました松本です。1年間、よろしくをお願いします。これから高校生活では、わからないことや不安なことが出てくるとおもいます。

その場合は、担任の先生にまず相談してください。そして、高校生活をより良いものにするために、みなさんに大切にしてもらいたいことを5つ述べておきます。

